

別添3 (Lancet 誌オンライン版 2020 年 6 月 1 日号を参考に藤田が作成)

新型コロナウイルス感染症

距離 1m 以上、マスク着用、目の保護でそれぞれ感染リスクは 8 割前後減少する

● システマティック・レビューとメタ解析

6大陸にわたる 16 カ国からの観察研究 172 件を特定。医療現場・非医療現場で行われた比較試験であるとの適格条件を満たした 44 件（患者総数 2 万 5, 697 例）を対象にメタ解析。

● 感染リスク

★フィジカルディスタンスが 1 m 以上の場合で 82% 減少

★フェイスマスクの着用で 85% 減少

とくに、N95 マスクや類似の防毒マスクは、使い捨てサージカルマスクや類似のマスク（再利用できる 12~16 層の綿マスクなど）と比べ、感染予防効果との関連性が強かった。

★保護眼鏡の使用で 78% 減少

著者は、「システマティック・レビューとメタ解析の結果は、1 m 以上のフィジカルディスタンスを支持するもので、政府が取り組むべきモデルおよび接触者追跡の定量的推定値が明らかになった。解析結果に基づき、公共の場および医療機関でのフェイスマスク、防毒マスク、保護眼鏡の適切な使用を広報しなければならない」と述べるとともに、「今回の介入のエビデンスをより明らかにするために、頑健な無作為化試験を行う必要があるが、解析結果は現時点で得られる最善のエビデンスであり、中間的なガイダンスとして利用可能と思われる」とまとめている。